

静岡市自殺対策に関する意識調査 調査結果報告書

概要版

I 調査の概要

静岡市における自殺対策を効果的に実施するため、また「静岡市自殺対策行動計画」推進の基礎資料として、調査を実施しました。

調査対象	静岡市在住の 20 歳以上の 5,000 人を無作為抽出	<p style="text-align: center;">性別・年齢</p> <p style="text-align: center;">■ 男 ■ 女 ■ 無回答</p> <p>N = 2,043</p> <p style="text-align: center;">■ 20～29歳 ■ 30～39歳 ■ 40～49歳 ■ 50～59歳 ■ 60～69歳 ■ 70歳以上 ■ 無回答</p> <p>N = 2,043</p>
調査期間	平成 29 年 9 月 1 日から平成 29 年 9 月 18 日まで	
調査方法	往復郵送調査法 (郵送による配付・回収)	
回収状況	配付数：5,000 通 有効回答数：2,043 通 有効回答率：40.9%	

生きる！
を支える



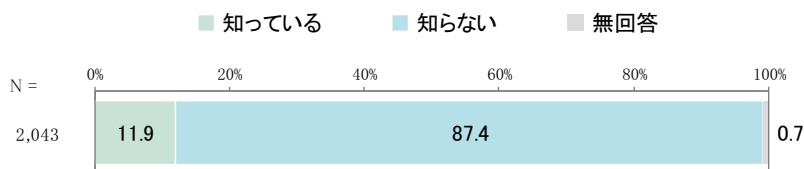
「生きる！を支える」
みんなの隊長
いきるん

II 調査結果

1 自殺の現状等について

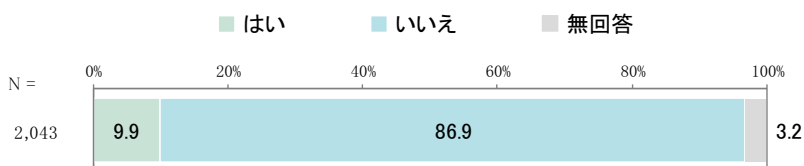
静岡市が自殺予防週間の街頭キャンペーンなどの自殺対策に取り組んでいることの認知度

「知っている」の割合が 11.9%、「知らない」の割合が 87.4%となっています。



「ゲートキーパー」について聞いたことがあるか

「はい」の割合が 9.9%、「いいえ」の割合が 86.9%となっています。

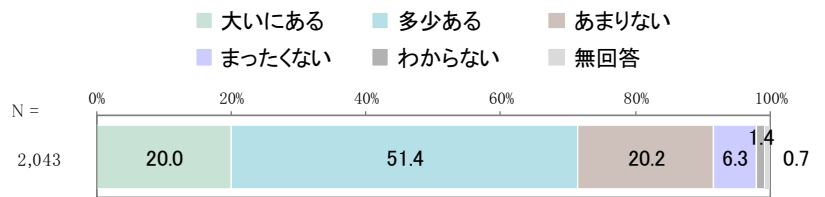


「ゲートキーパー」：自殺の危険を示すサインに気づき、適切な対応（悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る）を図ることができる人のことで、言わば「命の門番」とも位置付けられる人のこと。

2 悩みやストレスに関することについて

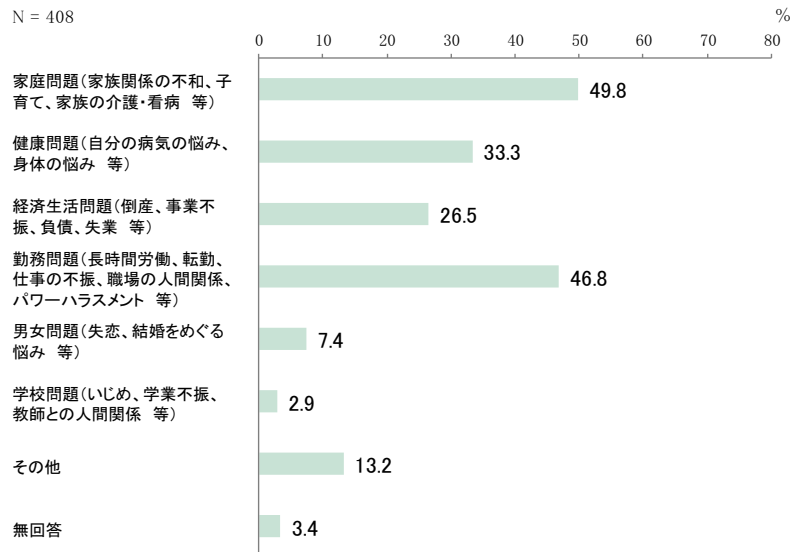
この1カ月間での日常生活における不満、悩み、苦労、ストレスなどの有無

「大いにある」と「多少ある」をあわせた“ストレスがある”の割合が71.4%、「あまりない」と「まったくない」をあわせた“ストレスがない”の割合が26.5%となっています。



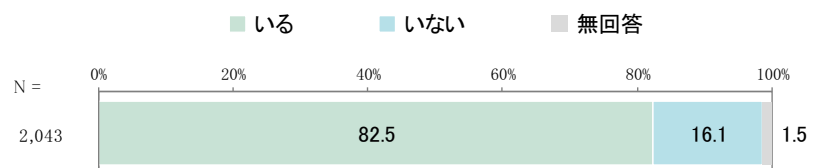
不満、悩み、苦労、ストレスなどの原因

「家庭問題（家族関係の不和、子育て、家族の介護・看病 等）」の割合が49.8%と最も高く、次いで「勤務問題（長時間労働、転勤、仕事の不振、職場の人間関係、パワーハラスメント 等）」の割合が46.8%、「健康問題（自分の病気の悩み、身体の悩み 等）」の割合が33.3%となっています。



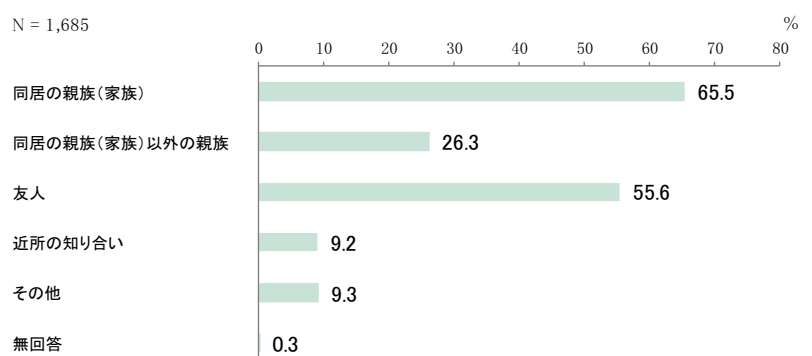
普段から何気ない日常会話や悩みを相談できる相手の有無

「いる」の割合が82.5%、「いない」の割合が16.1%となっています。



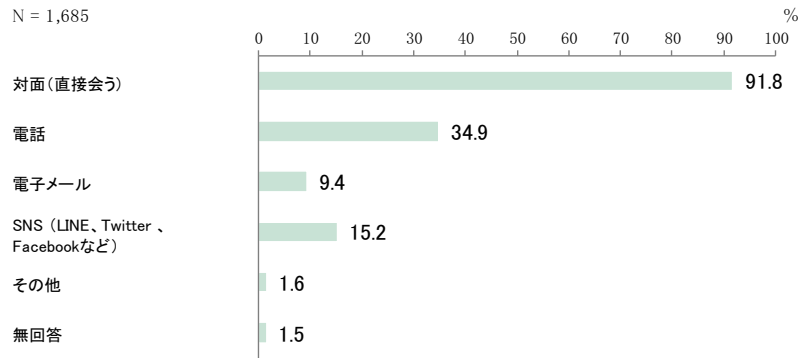
相談相手はどのような人か（複数回答）

「同居の親族（家族）」の割合が65.5%と最も高く、次いで「友人」の割合が55.6%、「同居の親族（家族）以外の親族」の割合が26.3%となっています。



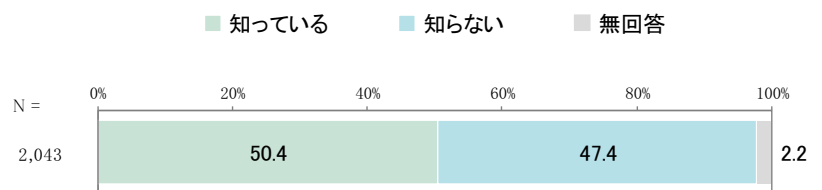
相談する方法（複数回答）

「対面（直接会う）」の割合が91.8%と最も高く、次いで「電話」の割合が34.9%、「SNS（LINE、Twitter、Facebookなど）」の割合が15.2%となっています。



精神的なストレスや不安について、行政または民間団体等のさまざまな機関で相談できることの認知度

「知っている」の割合が50.4%、「知らない」の割合が47.4%となっています。

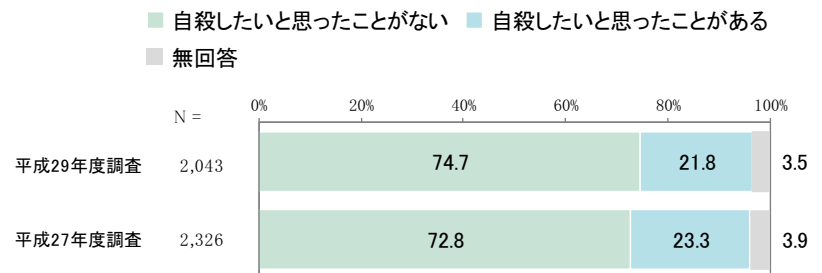


3 自殺やうつ病に関する意識について

これまでの人生のなかで、本気で自殺したいと考えたことがあるか

「自殺したいと思ったことがない」の割合が74.7%、「自殺したいと思ったことがある」の割合が21.8%となっています。

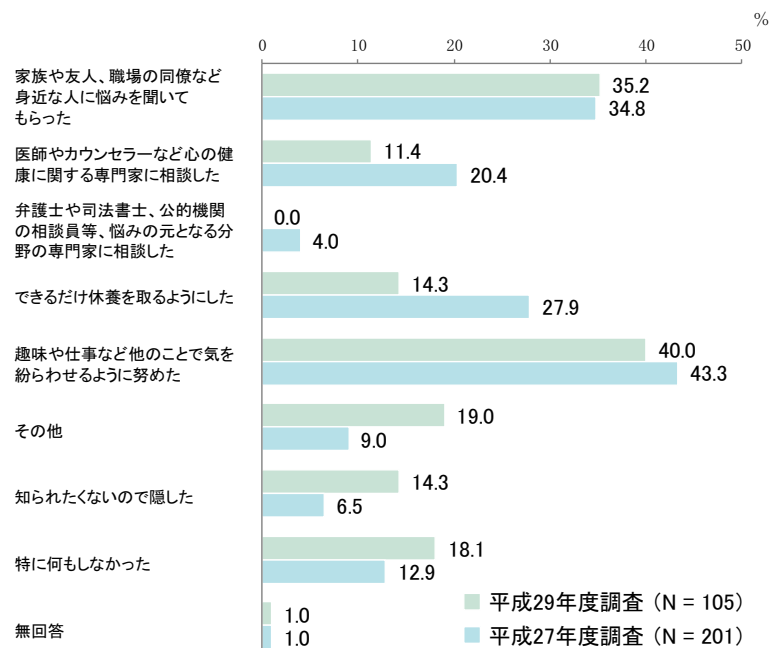
平成27年度調査と比較すると、大きな変化はみられません。



自殺したいと考えたときの対処法（複数回答）

「趣味や仕事など他のことで気を紛らわせるように努めた」の割合が40.0%と最も高く、次いで「家族や友人、職場の同僚など身近な人に悩みを聞いてもらった」の割合が35.2%、「特に何もしなかった」の割合が18.1%となっています。

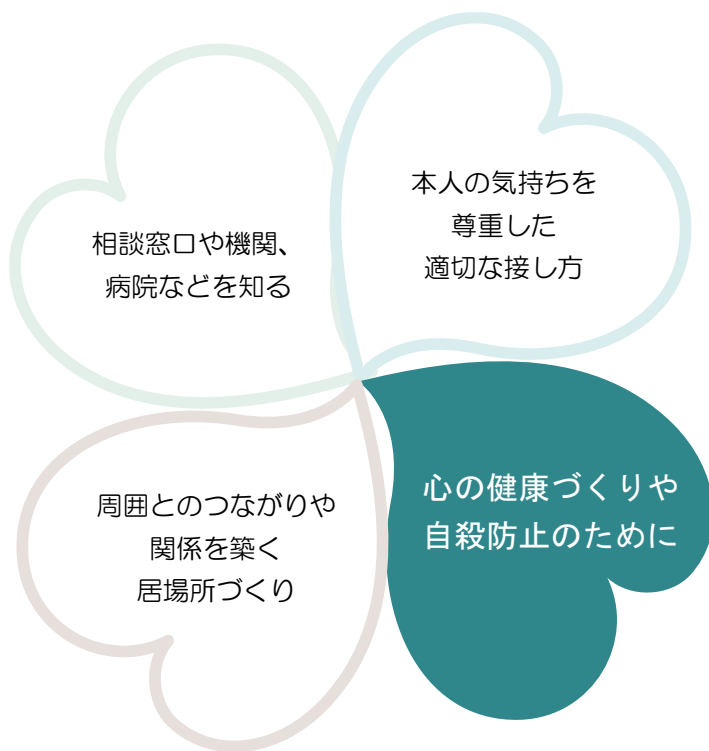
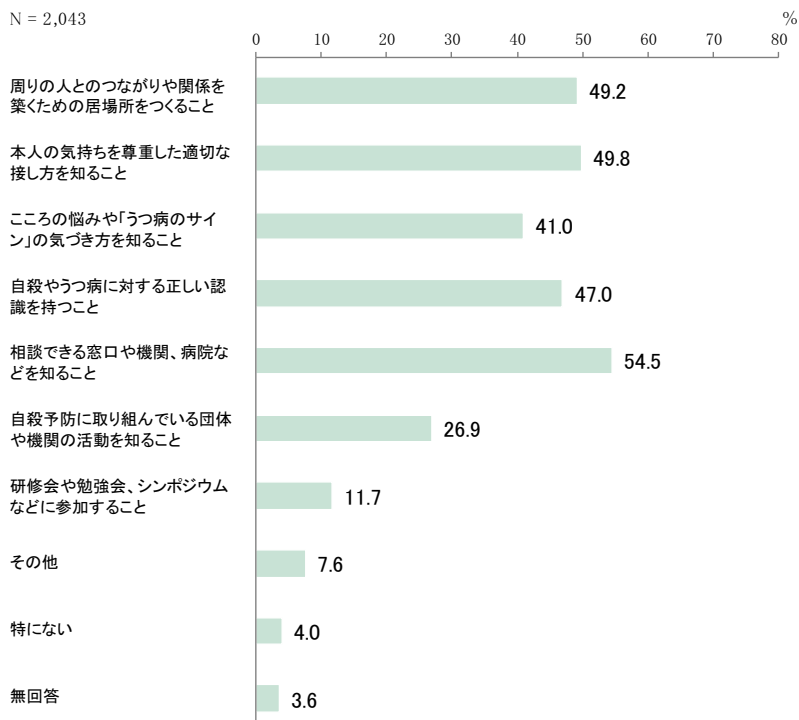
平成27年度調査と比較すると、「知られたくないので隠した」「特に何もしなかった」の割合が増加しています。一方、「医師やカウンセラーなど心の健康に関する専門家に相談した」「できるだけ休養を取るようにした」の割合が減少しています。



静岡市の心の健康づくりや自殺防止のために必要だと思うこと（複数回答）

「相談できる窓口や機関、病院などを知ること」の割合が54.5%と最も高く、次いで「本人の気持ちを尊重した適切な接し方を知ること」の割合が49.8%、「周りの人とのつながりや関係を築くための居場所をつくること」の割合が49.2%となっています。

N = 2,043



静岡市自殺対策に関する意識調査 調査結果報告書【概要版】

平成30年2月発行

静岡市保健福祉長寿局 保健衛生医療部

保健所 精神保健福祉課

静岡市葵区城東町24番1号

TEL 054-249-3179